

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム春桜 2F	評価実施年月日	平成21年6月30日
評価実施構成員氏名	鈴木 知子 河部 初恵 斉藤美香子		
記録者氏名	斉藤美香子	記録年月日	平成21年7月30日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	開所時より、その人らしく生きる理念を掲げています。		地域の中であって、その人らしく生活できるよう、外出や散歩などを工夫しています。
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	常に理念を念頭に置き、実践にむけて日々取り組んでいます。		見やすい場所に理念を掲げ、理念記入カードを携帯しています。
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	理念を理解していただける様、工夫し取り組んでいます。		パンフレットはもとより、家族や地域に発行している“春桜だより”にも理念を載せています。
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	隣近所の方々との日常的な挨拶を行っています。		前庭にコーナーを設け、気軽に立ち寄って頂ける様工夫しています。最近では子供を連れてお母さんなども立ち寄ってくれています。
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	事業所の経営者が自ら町内会の行事に参加し、交流に努めています。		これからも地元の人々との交流の機会を持ちたいと思います。
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	運営推進会議において、町内会長や民生委員の方々に、町内で役にたてる事や出来る事はないかをお聞きしながら取り組んでいます。		町内会長や民生委員の方々にお話を伺いながら続けていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	外部評価を活かし、改善点は速やかに改善し、実行しています。		評価の意義の理解はしています。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームでの生活の様子を委員の方にお話しし、理解を得ています。		町内の多くの方々にグループホームを理解して頂くために、見学会などを行い参加して頂いています。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	見学会を設け、町内の方々にホーム内の様子を見てもらっています。		いつでもオープンにし意見を聞き取れる体制にしています。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する研修会に参加し、成年後見制度について学んでいます。ホーム入口に内容について掲示しています。		「全国グループホーム大会」及び「北海道高齢者研修会」などの研修に参加し、学んでいます。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	北海道が開催している「身体拘束廃止推進委員会」に参加し学び、虐待のないホームにしています。		入居者の身体状況は常にチェックし、記録やスタッフ間でも把握し、家族に報告しています。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	十分な説明を行った上で契約し、家族の理解や納得をえています。		重要事項説明書に沿って説明し、同意のサインを頂いています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営規定の中に項目を設け説明しており、不満や苦情を受け入れる体制を作っています。</p>		<p>運営推進委員会の参加にて、外部者へ不満や苦情を表せる機会を設けています。</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>ホーム全体としてのお便りやユニット毎のお便りで、個々に合わせた報告をしています。</p>		<p>緊急を要する場合は、個々に電話連絡を行っています。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議の中で、家族の代表者から意見を受けています。</p>		<p>運営推進会議での意見や苦情等も話しやすい雰囲気心がけ、真摯に受け止めその後の運営に反映させています。</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>カンファレンス・リーダー会議・春桜運営会議で出された意見や提案を聞き反映させています。</p>		<p>外出行事や年間行事などの話し合いを常に行っています。</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>入居者の心身的な重度化や危険の可能性ある場合は、スピーディに勤務を調整し対応しています。</p>		<p>二人夜勤や時間外勤務にて対応しています。</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>管理者と計画作成担当者は変わらず勤務している人員で、馴染みの関係や支援に関する連携を常に心がけています。</p>		<p>カンファレンスや申し送りを重視し、職員のチームワークを図るよう努力しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人オリエンテーションを始め、経験や勤務年数に応じて法人内外の研修を受ける機会を確保し実践しています。		今後も研修の機会を設けたいと思っています。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同じ地域のグループホームの管理者会議や、ケアマネージャーの会議に積極的に参加しネットワーク作りをしています。		これからもネットワークを利用し管理者会議などにも参加し、サービス向上に努めたいと思います。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	休憩場所と時間を確保し、ストレスを軽減する環境を作っています。また悩みなどを気軽に話せるよう工夫しています。		各階のカンファレンス(月2回)の中で、仕事に関する悩みや不具合を出してもらっています。
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	研修や講座受講に積極的に参加することができる様資料を提供し、休日と勤務時間の工夫をしています。		今後も機会があるごとに勤務時間を配慮しながら、研修や講座受講に参加していきます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ホームの見学をゆっくり行って頂き、その後お茶を飲みながら、なるべく多く本音の気持ちを聞く機会をもっています。		見学の際、話しやすい雰囲気をつくり、安心してできる言葉掛けを工夫しています。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居相談・ホーム見学・判定見学・契約説明等と、状況に合わせ家族などから良く聞く機会をつくり努力しています。		ご家族との信頼関係を築くことができる様努力しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	デイサービス・ショートステイ・老人ホーム等、本人と家族の状況や希望に合わせた対応を行っています。		グループホームへのショートステイ利用を勧めています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に必ず本人をホームに招いて、相互の意思を確認するよう努めています。		ご家族と入居前にどのような方法が良いかを相談し、相互の意思を確認するよう努めています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	「共同生活介護」という立場から、利用者を中心にしながら、一緒に喜怒哀楽を共にする生活や行事を工夫しています。		編み物やかたづけ方法など、色々と教えて頂いています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ホーム内の行事には家族の都合を聞きながら参加して頂き、本人とともに喜怒哀楽を分かち合えるよう支援しています。		ご家族の協力を得ながら、共に支えあいましょうとお話しています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	センター方式のアセスメントの活用を家族の方に協力を得ながら行い、本人と家族との関係の理解に努め支援しています。		ご家族が訪問の際には状況説明をし、よりよい支援と明るく過ごして頂くようお話をしています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	お友達の来訪や家族との外出を希望が有れば勧め、これまでの生活を継続して頂くようお話をしています。		馴染みの人に訪問してもらったり、混乱のない場合には、希望の場所に行ける様支援しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	普通の生活や申し送り等で生活状況を把握し、食卓の位置を工夫したり、アクティビティ等を皆さんで楽しんで行うことができる様工夫しています。		利用者の状況により違いはありますが、仲良く会話できるよう介護者が間に入ったり、一緒に家事を行って頂く工夫をしています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	病院へ入院した方を面会したり、ご家族の方にもいつでもホームへ来訪して下さるよう、声掛けを行っています。		これからも関係を保つ様にしていきたいと思えます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常より記録の中やアセスメントを利用し、カンファレンスの中で見当しています。できる限り本人の希望・意向に添える暮らし方になるようにしています。		極力ご本人の希望に添うよう努力をしていますが、ご家族からのお話も聞きながら意向に添える工夫をしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式のアセスメントを利用する事と、家族の方からの情報又は本人との何気ない会話からでてくる思い出などから、生活歴や馴染みの暮らしの把握に努めています。		普段の何気ない会話からも情報を得るように努めています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの生活記録とバイタルサインチェック表等で、現状を把握するよう努めています。		一人ひとりを大切に見守っています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケアカンファレンスの実施(月2回)と本人・家族の希望を記録に残し、ケアプラン作成を行っています。日々の会話からも気づきやアイデアを見逃さずメモし、活用しています。		介護支援専門員は、研修などに積極的に参加し、常に本人の側に立った適切な整理を行うよう努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	月2回のカンファレンスの中で、ケアプランの立案や評価のみでなく、日常の変化について常にアンテナを張り、変化のある時は目標設定を変えます。今のその人に合ったものを話し合い計画を作成しています。		常に話し合いや情報を検討しすすめています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	一人一枚の生活記録を毎日記入しており、毎日の申し送りやカンファレンスの中で情報を共有しています。又、ケアプランの見直しに活かしています。		月二回のカンファレンスの際にも、スタッフ全員で取り組んでいます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	パウロ病院の内科・歯科への受診や、リハビリへの助言など、多機能を活かした支援を行っています。		これからも多機能性を活かし、ご本人や家族の要望に添うように支援していきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	運営推進会議の中で話し合っています。		個人的な必要性に応じて支援する機会を持っていきたいと思います。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	グループホームは介護保険内での他のサービスを利用できませんが、ベッドのリースやデイケアの見学などを行っています。		他のサービスの利用が可能な限り支援したいと思います。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議の中で話し合っていますが、具体的な協働はまだありません。		必要性に応じて協働する体制はできています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	ホーム長が看護師ですので気軽に相談でき、日常の健康管理や医療活用の支援を行っています。		母体のパウロ病院の外来看護師にも気軽に相談し支援しています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	母体のパウロ病院のかかりつけ医や、提携している精神科病院の専門医に受信し、診断や治療を受けられるよう支援しています。		ご本人の状態に合わせ信頼できる専門医での受信を行っています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホーム長が看護師のため、気軽に相談しながら支援しています。		“特変用紙”という記録の形式に、心身の状態や受信について記入しています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	母体であるパウロ病院や、その他連携している病院と協働し、入退院がスムーズに行えるようにしています。		早期退院に向けた医療機関との連携にとりこんでいます。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入所時より本人、あるいは家族から希望を聞き、話し合いを行っています。又重度化のできるだけ早い段階からかかりつけ医と相談し、本人と家族とも話し合っています。		入所時にもご家族とお話し全員と方針を共有しています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	利用者の心身の状態変化は、すみやかに家族に報告し、かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいます。		かかりつけ医と共にチームとして取り組み、スタッフ間においても意識確認を話し合っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	家族の方との話し合いやカンファレンスの中で情報交換を十分に行い、ダメージを最小限にする努力をしています。		できる限り本人の希望に添った部屋のしつらいや好みを尊重し、実践しています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	新人オリエンテーション時に言葉掛けや対応の注意点や、個人情報の取り扱いについて教育しています。		入居時に個人情報保護に関する説明を行い同意を得ています。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	「分かること」「できること」「できそうなこと」「わかりそうなこと」を見極め声掛けをしています。できるだけ自分で決めたり、納得して暮らせるよう支援しています。		失敗による自信喪失がないように必ず共に行い、会話を楽しみながら支援しています。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日の大きなタイムスケジュールはあるものの、一人ひとりの希望に添い生活できるよう支援しています。		利用者の声を大切にし「なにかしたいなー」の声にはアクティビティを、「散歩したいなー」のサインには散歩を・・・とできる限り一人ひとりのペースを大切にしています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	その人らしい好みのおしゃれができる様支援しています。		利用者の状態や希望に添って、行きつけの床屋や美容室を選ぶことができます。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の状態に合わせて、職員と一緒に食事の準備や片付けを行っています。時には、メニュー変更し目先を変えるようにしています。		食事が楽しみである事は充分承知していることなので努力を続けたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	お酒は行事の時に提供していますが、特に希望されている方はおりません。		飲み物・おやつなどは工夫し提供しています。たばこを吸う方はおりません。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの生活記録を記入しパターンを把握し、トイレの声掛けや誘導を行っています。		一日中紙パンツを使用するのではなく、昼はなるべく布パンツ使用の努力をしています。夜間は失敗を気にされたり不眠になる方のみ、紙パンツを使用しています。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週に二回以上のペースで一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめる様に支援しています。		タイミングを図り、希望に合わせて入浴を楽しんでいます。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりに合った休息や、眠りの時間をもてるよう支援しています。		浮腫が見られる方には、特に昼寝などをとってもらう様声掛けを行っています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	「力の発揮」できる場を見つけ役割をもてるよう支援しています。		役割分担や作業分担を考慮し工夫しています。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族の理解を得て希望に添って、お金を所持したり使えるようにしています。		ご家族の理解の下、支援していきたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	できるだけ戸外の空気を吸えるよう、花畑の散歩や中庭への散歩などへ行っています。		真冬や雨の日以外は、散歩の時間をとっています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	お花見や紅葉見学・ドライブなど、利用者や家族とともに出かける機会を多く作り、支援しています。		四季折々の景色や季節を楽しみながら、ご家族とともに楽しむことができる様工夫しながら行っています。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	早朝や深夜以外は自由に電話したり、手紙のやり取りができる方にはできる様支援しています。		利用者の希望に応じ、いつでも電話対応をおこなっています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	居心地のよい場所を作り、馴染みの人たちが気軽に訪問でき、気持ちよく過ごせるように工夫しています。		居室だけでなくワークスペースや居間でも、くつろげる場所を設け利用していただいています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員全員が身体拘束の具体的な行為を理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		身体拘束をしないケアを実践しています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵をかけないケアを行っていますが、利用者の安全のため時間帯に応じて鍵をかけなければならない事があります。		鍵をかけないケアは基本ですが、利用者の安全のためやむ負えない場合があります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	利用者の所在や様子を把握できる設計になっており、安全に配慮しています。又職員は色々な業務をしながら、安全に暮らせるよう配慮しています。		一人ひとりの体調を把握し、夜間では特に見守りを強化しています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	刃物・針などについては、一人ひとりの状態に応じて個別に対応しています。		台所の包丁は鍵のかかる引出しに保管しています。編み針で編み物をしている利用者もおります。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	なるべく、インシデント・アクシデントが発生しないよう日々のケアに関しては、スタッフ一人ひとりに注意や指導を行っています。又発生した場合にはカンファレンスを行い、再事故防止について話し合いをおこなっています。		利用者の状態を常に把握し、安全を重視しています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当の初期マニュアルは見やすい所に貼ってあり、特変時の対応についても常にスタッフ一人ひとりがシュミレーションを行い、対応できるように指導しています。		応急手当対応マニュアルを見やすい所に貼り備えています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年二回の避難訓練を行い職員は災害時どのような対応をして良いかを把握しています。又災害時は母体との連携もできる態勢をとっています。		地域との連携については、運営推進会議の中で話し合っています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ケアプラン説明時や来訪時に家族の方に説明しています。リスクに対応するために疑問点などはすぐに話し合いを行っています。		ご家族の訪問時に細かく様子をお知らせし、その中でリスクについてもお話しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	食事量・飲水量・排尿・排便回数の記録、バイタルサインチェックや本人の訴え・顔色等から体調の変化を速やかに発見し、情報を共有し対応に結びつけています。		速やかに情報を共有し、看護師であるホーム長に報告しています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりの薬の基本情報をファイリングし理解しています。服薬の支援と症状の変化の確認につとめています。		一人ひとりの薬の基本情報を確認するよう努めています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分摂取を多くする工夫やヨーグルトや牛乳の飲用、繊維質の食物の工夫を行い、それでも困難な場合はかかりつけ医に相談し、下剤の処方をして頂いています。		散歩や体操・レクなど体を動かす働きかけに取り組んでいます。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、歯磨き解除の誘導を行っています。本人・家族の希望に応じて歯科受信するよう支援しています。		パウロ病院に歯科があり、歯磨き指導を受けたり、口腔状態の観察治療が速やかにできます。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量や水分量を記録し、栄養バランスや水分量の確認をしています。		体調を崩しやすい方には、特に夜間に水分を摂って頂くよう声掛けを行っています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルがあり、ファイリングしており予防や対応の取り決めがあります。		取り決めがあり実行しています。ノロウイルスセット(流行期間)を準備しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理用具の消毒・食材の整理についてのマニュアルがあり実行しています。		特に衛生管理には気をつけています。マニュアルを見やすい所に貼付しています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	ホームの前は花壇を設け、沢山の花や作物を植え楽しめるようにしています。ベンチやテーブルを配置し憩える空間を確保しています。		玄関は段差をなくしスロープにしており、手摺やつかむ所を工夫しています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用の空間には季節感を味わえるよう壁飾りなどの工夫を施しています。不快な音や光がないよう常に配慮し、カーテンの使用やテレビ・CDの音にも注意し調節しています。		利用者の状況に応じ居心地良く過ごせるよう努力しています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	玄関ホールや廊下にもソファや椅子を置き、自由に過ごせるような工夫をしています。		声掛けもしながら自由に過ごして頂いています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人や家族の方と相談しながら使い慣れた物や好みの物を置き、居心地良く過ごせるよう工夫しています。		家族の方との話し合いで、なるべく本人の意思を考慮するよう相談しています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度計や湿度計のチェックを行ったり、利用者の状況に応じて換気に努め、こまめに調節しています。		体調管理にも配慮し、換気には充分気をつけています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物は車いすや歩行器を使用できるよう、トイレ・洗面所・浴室・台所をかなり広くスペースを確保しており、手摺もいたる所に設置して安全かつできるだけ自立に結びつけることができるようにしています。	これから安全に特に配慮し、自立に結び付けられる生活を送ることができるよう配慮したいと思います。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	日々の記録やアセスメントから一人ひとりの分かる力を活かし自立して暮らせる工夫をしています。プライバシーに配慮しながらトイレの誘導をしています。	できることをさりげなくして頂ける様、声掛けやきっかけのタイミングを図っています。
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	花畑を楽しめるテーブルやベンチを置き、散歩したり座って楽しめるようにしています。	天気の良い日にはいつでも散歩に行ける様、きれいな花を楽しんで頂くようにしています。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>毎日の申し送りやアセスメントを通して、話し合いを共有しています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>○①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>食事やお茶の時間は必ず一緒にすごします。散歩やゲーム等をゆっくり楽しんでいます。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>一人ひとりが本人のペースで暮らしています。栄養状態や清潔を保つなどを念頭におきながら一人ひとりのペースを崩さないような工夫をしています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>明るい笑顔、話声、態度などから生き生きしている姿がみえます。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>本人の申し出がある所へは出かける努力を惜しみません。散歩などは当然ですが、遠方へも家族の協力を得ながら出掛けるようにしています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>定期的な受診や体調不良時の受診と医療面では素早く対応しています。またIHキッチンやスプリンクラーの設置、消防署への通報装置があり安全面でも配慮しています。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>業務日誌や申し送りの内容を職員が毎日きちんと把握し、利用者の状況の変化や要望にたいして支援ができるよう努力しています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>○①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない</p> <p>家族からの要望や希望を記録に記入し、実現できる様になる努力をしています。又職員間で記録を読み同じ対応ができ、信頼関係を作るようにしています。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように ○②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p> <p>馴染みのお友達が訪れています。</p>
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>○①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>年数が経ち認知もされてきたようなので、ホームへの理解者や応援者が増えています。</p>
98	職員は、生き生きと働いている	<p>○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>職員の人数を十分に確保し休憩時間や場所の配慮を行い、ストレスが溜まらないようにしています。</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>利用者の明るい表情や、落ち着いた生活態度からみて、概ね満足されていると思います。</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>○①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>よく感謝の言葉を頂いています。家族の方は中々不満などは言えない事もあると思いますが、私たちの支援方法に概ね満足して頂いていると思います。</p>

「特に力を入れている点・アピールしたい点」

- (日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
- ・グループホームとしては広い空間が特色です。歩行器や車いす使用の利用者対応ができます。
 - ・パウロ病院と渡り廊下でつながっているので受診しやすく、健康状態のチェックが素早くできます。
 - ・看護師が常勤しているので、日々の体調の変化にも素早く対応できます。